

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

未来の千ひろの滝に向けて

神山小学校 六年 池田 道人

ぼくは、千ひろの滝の前をバスでよく通る。いつもは、何も思っていないが、友達と遊ぶ時は自転車でよく通る。なぜかその時はすごく迫力がある。まわりに生えている木が風でゆれていて、すごいきれいで、滝の音がします。

ぼくが初めて行ったその日は、すごく大きくて、びっくりしました。その時は観光客が多かったです。気がします。でも今では、千ひろの滝に行く人も少なくなっているような気がします。

たぶん一度見たらあきってしまうから、少ないと思っていると思います。

もっと観光客を増やすために、千ひろの滝のすぐそばに、たかかんばをいっぱい立てたり、木を植えて、景色を変えたりすればいいのだけ。それは、自然破かいつながります。

そこで、もっと観光客を増やすために、観光バスを増やせばいいと思います。ほかに、楽しく行けるように、スタンラリーや、もっと滝

No. 1

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



